

「スマートシティ長井」実現事業で目指す将来イメージ

あらゆる分野でデジタル技術を活用し、
 誰もが安心して、住み慣れた地域でいつまでも暮らせるまちへ！



これまでの経過

- 2018年

 - 国の動向を踏まえ、施政方針に「Society5.0」の実現に向けた取り組みを記載
- 2020年7月

 - デジタル推進室 発足（民間からデジタル専門人材を受け入れ）
- 2021年6月

 - 地方創生推進交付金事業（Society5.0タイプ）に『いつまでも便利に安心して暮らせる「スマートシティ長井」実現計画』を申請
- 同 8月

 - 事業採択（5年総額8.2億円、県内初）
- 同 10月

 - 事業者選定を行い、事業開始
- 2024年（現在） 4年目（自走に向けた検討フェーズに到達）

- 有害鳥獣対策

 - ✓ 自動で撮影し、AIが有害鳥獣かどうかを判断し、データを送信するモーションセンサーカメラを市内18カ所に設置。
 - ✓ 昼夜問わず遠隔で有害鳥獣の出没を監視できるため、近隣住民への注意呼びかけや駆除などの対応が迅速化。

施策イメージ

有害鳥獣が多発する市内13カ所に設置（今後増台予定）

モーションセンサーカメラ及びデータ送信機器

クラウド・AI

AIが有害鳥獣と判断した場合、関係者に自動で通知（PC・スマホでデータ参照）

【出没鳥獣別、月別出没回数（延べ）】

時間帯（時）	クマ			イノシシ			カモシカ			タヌキ		
	7～18	19～6	計	7～18	19～6	計	7～18	19～6	計	7～18	19～6	計
5月	0	1	1	0	20	20	2	0	2	0	9	9
6月	1	4	5	0	15	15	9	11	20	8	66	74
7月	5	57	62	1	38	39	6	9	15	23	127	150
8月	2	111	113	1	31	32	7	9	16	46	155	201
9月	1	39	40	1	27	28	4	8	12	24	155	179
10月	6	38	44	11	49	60	7	11	18	47	141	188
11月	3	13	16	15	14	29	2	2	4	51	87	138
12月	0	0	0	0	1	1	0	1	1	0	8	8
総計	18	263	281	29	195	224	37	51	88	199	748	947

【捕獲の例】

①クマが頻繁に映り込み

②箱罠を設置し、状況を監視

③遠隔で捕獲を確認

箱罠の遠隔監視により、見回りに係る人員削減にも寄与

ドローン有効性実証実験

- ✓ 赤外線カメラや衝突回避機能を搭載したドローンを活用することで、安全かつ効率的なクマやイノシシの位置把握について、有効性を確認。

▲デントコーン畑においてドローンで撮影した画像。黒点が野生動物と判断される。

▲冬場に山間部で多発するイノシシ。周囲との温度差により効率的な発見が可能。

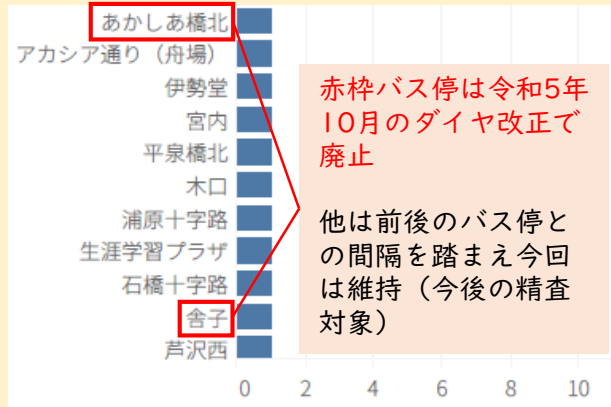
赤外線カメラ搭載ドローン

衝突回避機能搭載ドローン

公共交通

- ✓ 従来は手集計していた**市営路線バスの乗降データ**を、RFIDを活用して効率的かつ効果的に収集。
- ✓ データ分析に基づき、**ダイヤ改正・バス停再編**を実現。

	データ分析結果	市政反映・最適化
利用者属性	高齢者の利用が多い	総合病院に向かう便の充実
目的地	金曜日にスーパー前のバス停での乗降が多い	スーパー利用者傾向を踏まえた時刻表の最適化
バス停時刻表構成	部活帰りの下校時間に学生の利用者は少ない	バスの運行時間帯の見直し



▲ いずれも乗降数が10件未満のバス停

地域通貨

- ✓ 長井市独自のデジタル地域通貨「ながいコイン」を展開。
- ✓ プレミアム商品券のデジタル化や、自治体からの**還元施策のプラットフォーム**として運用。

展開目的

【地域経済循環の創出】

- 地域のお金を地域で回す環境づくり

【住民の利便性向上】

- 使いやすい・貯めやすい還元施策の実現
「長井市の還元施策はながいコイン」

【住民の市政参画促進】

- 健康ポイント・ボランティアポイント等をきっかけとした施策への参画促進

総流通額:**5.94億円** ※R6.7.31現在

展開例

- ✓ プレミアム商品券として販売
- ✓ 家計サポート商品券として全市民へ配付
- ✓ 自販機や市内の商店において恒常販売券を販売
- ✓ 地域視察ツアーに組み込みセット販売

利用可能店舗・施設**166店舗**

eスポーツ

- ✓ TAS（市内複合施設）内にeスポーツスタジオ「Ne-st(ネスト)」を設置。
- ✓ eスポーツイベントの開催による交流促進や、eスポーツをきっかけとした**DX人材の育成・誘致**を推進。



イベント来場者:**1,231名** (延べ)

- ◀ 「Ne-st」内には高スペック機材を設置。環境を活かし、主に小中学生を対象としたプログラミング教室も開催し、人材育成を行っている。

河川水位監視



- ▲ まちなかの小河川などに水位を監視するカメラ及びセンサーを計20カ所設置。
LPWAにより**水位情報を定期的に送信**。

スマートストア



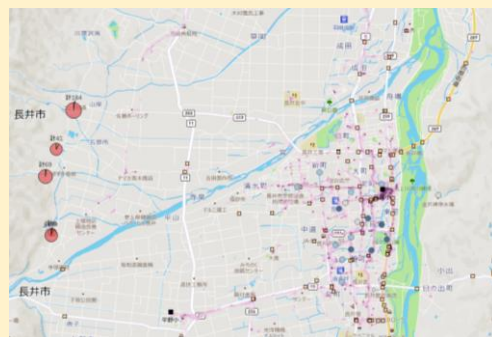
- ▲ 市庁舎内売店、商店の少ない伊佐沢地区のコミュニティセンター敷地内に**無人店舗「スマートストア」**を設置。
- ▲ 買い物支援のほか、担い手不足対策に寄与。

【R4.4～R6.7の実績】	利用延べ人数	購入点数
市役所スマートストア	7,651人	12,170点
伊佐沢スマートストア	2,363人	4,377点

データ分析

- ✓ スマートシティ事業において蓄積されたデータ及び行政保有データ、市中のオープンデータの横連携により、**新たな価値の創出を検討**。

■ 地域の新ハザードマップ策定

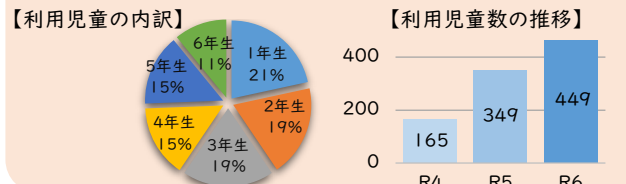


住民への注意喚起・通学路改善等に活用

子ども見守り



- ▲ 市内小学生に、アプリと連携したGPS発信端末を配付し、**遠隔で子ども見守り**を実施。

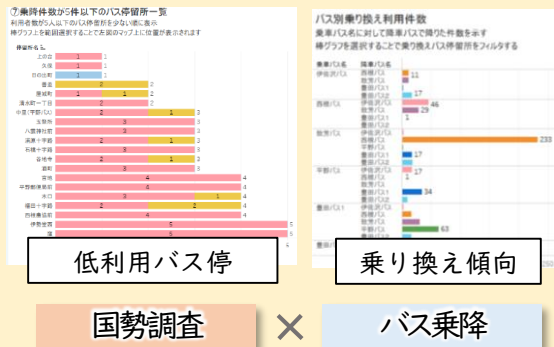


ドローン



- ▲ ドローンの関心や理解を深め、活用・普及のきっかけとすべく、農業や防災、有害鳥獣等の分野でデモフライト等を開催。

■ 住民生活に即した公共交通展開



国勢調査 × バス乗降

市営バスダイヤ・バス停最適化に活用